平成31年度　都立学校・学校経営シート

校章	都立北豊島工業高等学校	定時制課程
	地域に愛され、地域に開かれた工業高校 校訓「自治」－実力主義、努力主義、反省主義－	

基本情報				
所在地	〒 174-0062 板橋区富士見町28番1号	電話番号	03-3963-4331	
アクセス	(1) 東武東上線「中板橋」駅下車徒歩8分 (2) 都営地下鉄三田線「板橋本町」駅下車A4出口より徒歩10分 (3) 都営バス:新宿－王子　富士見町都営住宅前下車徒歩4分			
学科	機械科			
在籍生徒数	機械科47人（男子46人、女子1人）			
その他		校服	なし	

基本情報		
教育課程の特徴		45分　4時間授業
進路指導	実績	四年制大学 10%　短期大学 0%　専門学校 30%　就職 50%　その他 10%
	特徴	学校斡旋就職内定率100%・計画的なキャリア教育・充実した資格取得の推進
主な部活動		バスケットボール部、バドミントン部、陸上競技部、テニス部、ダンス部、模型工作部等
学校評価		生徒授業満足度:76%、保護者満足度:90%
入学選抜	募集人員	一般:30人（男女）
	その他の特徴	学力検査と面接を実施
主な学校行事		スポーツテスト（6月）、文化祭（11月）
ホームページ		http://www.kitatoshimakogyo-h.metro.tokyo.jp

目指す学校　本校は、創立98年目の伝統ある工業高校である。校訓に「自治」を掲げ、「自らの人生を自ら治める」ことができる社会的・経済的に自立した人財、「本校で学んだ知識と技術を活用して社会に貢献する」ことができる人財の育成を目指す。

	今年度の重点目標	今年度の取組と自己評価
目標①	**入学した生徒が一人でも多く卒業するために教職員が努力する学校** 昨年度に引き続き、校内の相談体制の充実やスクールカウンセラー及びYSWとも連携し、家庭とのきめ細かな対応を行い、いじめなどの問題行動、自殺防止、遅刻防止、長期欠席者への早期対応を行うことで、中途退学者0を目指し、様々な取り組みを行い生徒が過ごしやすく通学できるような学校を目指す。	本校では、スクールカウンセラーによる全員面談を実施した。また、気になる生徒がいた場合、担任や養護教諭がスクールカウンセラーにつなげる体制ができているため、生徒とカウンセラーの接点が近くなり、最低でも年1回、多い生徒では年10回以上相談する生徒もいた。その効果がこの数年徐々に現れ、退学者数の減少にもつながっている。学校環境も落ち着いているため、生徒にとって過ごしやすい環境になっており、遅刻・欠席の生徒が減少したことも大きな要因である。
目標②	**生徒の学力と体力の向上** 入学してきた生徒の学力と体力等を十分に研究し、真に生徒に身に付けさせたい学力・体力と技能など「学びなおし」を含め日々の教育活動を充実させる。また、学習活動の成果を発揮させるため、外部での発表会や大会への参加を促進させる。	本校に入学する生徒の中には、相当数の不登校経験者が存在しているため、授業においては各教科とも基礎・基本を重視し、わかる授業を目指して取組んでいる。また、学力不足の生徒に対しては、授業以外にも始業前や放課後を利用した補習・補講を行い、授業のフォローのほか基礎学力定着のための学習をさせるなど、きめ細かく粘り強く「あきらめさせない」取り組みを行った。修学旅行（小笠原）報告会や課題研究発表会などでも発表する機会が増えている。また、体力向上については、一部の生徒を除き大半の者は体力水準が低く、特に低い項目については体育の授業の最初に補強運動を取り入れるなど工夫している。
目標③	**生徒が希望する進路の確実な実現** 全学年を通じて体系的なキャリア教育をさらに充実させると共に、関係機関と連携した進路ガイダンスや3学年参加のインターンシップなどを充実させる。また、就職試験に対応できる力（作文・面接）や技能（資格取得など）及び職業観を身に付けさせ、進路決定率100%を目指す。	キャリア教育については、全学年を通して年間計画を立て、学年進行でインターンシップ、進路活動へとつなげる計画となっている。今年度については、各学期に1回年3回の進路ガイダンスを関係機関や社会人となっている卒業生と連携して実施した。4学年の進路活動については、希望者全員の進路を決定することができた。

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	卒業までに、全校平均1人1資格合格を目指し、学力の向上につなげる。（名）	60	25	56	21	52	8	30	7	30	30	30
目標②	校内体制の充実や家庭と連携し、欠席を減らし中途退学率を減少させる。（%）	10	6	8	6	8	6	0	4	0	0	0
目標③	4年間のキャリア教育全体計画に基づき、就職内定率80%以上にする。（%）	85	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100